



ぜんそく

気管支喘息とアトピー性皮膚炎

～最近の考え方と治療～



東京女子医科大学附属八千代医療センター
小児科 武藤順子

小児のアレルギーで有名なものは気管支喘息とアトピー性皮膚炎です。
両者とも最近になり治療法が変わってきたことがあります。今まで通りのことも含めて、
今回はこの2つのアレルギーについてお話します。簡単にまとめると以下のようになります。

気管支喘息

気道(口から鼻さらに肺にかけての空気の通り道)の炎症(傷がある状態のこと)が続く病気です。

◎ 治療法

大きく分けて2種類ある

- 発作の薬(リリーバー)…発作がおきた時に使う(ゼーゼーを一時的に治す薬)
- 長期管理薬(コントローラー)…毎日規則正しく使う(発作をおこさないようにする薬)

喘息治療は発作を起さないようにするために毎日薬を使うのが最近の治療です。

アトピー性皮膚炎

顔から始まり、徐々に体、手足に治りにくい湿疹が生じてずっと続くものです。

◎ 原因

先天的に皮膚の乾燥とバリアー機能(外からの刺激で簡単に湿疹を生じる皮膚の質)の低下があり、
アレルギーをおこしやすい素因を持つ人に、悪化因子が加わって生じます。

◎ 治療法

薬を正しく使い、お肌をいつも清潔に保つことです。またお風呂はぬるめにし、かかない事が大切です。
刺激の少ない肌着を着ることをおすすめします。掃除はこまめにし、清潔にしましょう。



東京女子医科大学
八千代医療センター
TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHITO MEDICAL CENTER

